

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(233)(HP 収載) —リシェツキのショパン 24 の前奏曲—

1. 始めに

前報(232)に引き続き、STAGE+のヤン・リシェツキのショパン 24 の前奏曲他の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のヤン・リシェツキのショパン 24 の前奏曲他の演奏を選びました。

ショパン：24 の前奏曲 他

ヤン・リシェツキ

フレデリック・ショパン 前奏曲 変イ長調 遺作

ヨハン・セバスティアン・バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻

前奏曲 第1番 ハ長調 BWV846

セルゲイ・ラフマニノフ 10 の前奏曲 作品 23

第3番 ニ短調

オリヴィエ・メシアン 前奏曲集

第1曲：鳩

第2曲：悲しい風景のなかの恍惚の歌

第3曲：軽やかな数

フレデリック・ショパン 前奏曲 嬰ハ短調 作品 45

セルゲイ・ラフマニノフ 前奏曲 嬰ハ短調 作品 3 の 2

ヘンリク・グレツキ 4つの前奏曲 作品 1

第1番: Molto agitato

第4番: Molto allegro quasi presto

ヨハン・セバスティアン・バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻

前奏曲 第2番 ハ短調 BWV847

セルゲイ・ラフマニノフ 10 の前奏曲 作品 23

第5番 ト短調 04:14

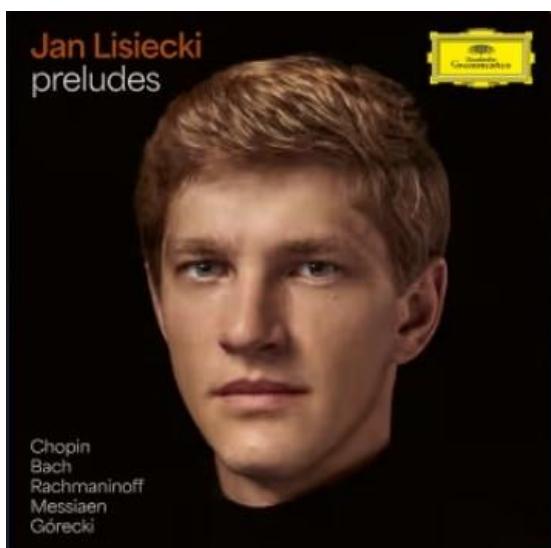
フレデリック・ショパン 24 の前奏曲 作品 28

第1番 ハ長調

第2番 イ短調

第3番 ト長調

第 4 番 木短調
第 5 番 二長調
第 6 番 口短調
第 7 番 イ長調
第 8 番 嬰ヘ短調
第 9 番 木長調
第 10 番 嬉ハ短調
第 11 番 口長調
第 12 番 嬉ト短調
第 13 番 嬉ヘ長調
第 14 番 変木短調
第 15 番 変ニ長調 《雨だれ》
第 16 番 変口短調
第 17 番 変イ長調
第 18 番 ヘ短調
第 19 番 変木長調
第 20 番 ハ短調
第 21 番 変口長調
第 22 番 ト短調
第 23 番 ヘ長調
第 24 番 ニ短調



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。ショパンの前奏曲変イ長調からラフマニノフの 10 の前奏曲第 5 番までは、前奏曲の聴き比べです。

ショパンの前奏曲変イ長調遺作とバッハの平均律クラヴィーア曲集第 1 卷前奏曲第 1 番ハ長調は、お馴染みの曲です。ショパンは療養の際にマジョルカ島に行った際、バッハの平均律クラヴィーア曲集の楽譜を携えたそうで、興味深い対比です。ラフマニノフの 10 の前奏曲第 3 番ニ短調とメシアンの前奏曲集は、初めて聴くもので、ラフマニノフとメシアンでは、前奏曲といつても随分と表情が違います。ショパンの前奏曲嬰ハ短調とラフマニノフの前奏曲嬰ハ短調は、同じ調性の嬰ハ短調での比較です。表情は詩情と激情のニュアンスは違いますが、調性を同じくするところが感じられます。

グレツキの 4 つの前奏曲の第 1 番と第 4 番、バッハの平均律クラヴィーア曲集第 1 卷前奏曲第 2 番、ラフマニノフの 10 の前奏曲第 5 番は、現代の作品、バロック音楽、ロシア音楽の対比となります。

ショパンの 24 の前奏曲は直近の川口成彦のプレイエルによる演奏を聴いてきたばかりで、興味がありました。上記のショパンと同様、情感を込めた演奏ですが、プレイエルの演奏に比べると情感が薄れて淡色系に聴こえます。また、BS クラシック俱乐部の放送でリシェツキの同上曲の演奏もありましたが、同様の印象です。

4.まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結した結果、同じ前奏曲でも随分と表情が異なり、それらを弾き分けている様子が聴き取れます。

以上